

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	デイグ・スマイル前橋西教室				公表日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	各部屋に制限人数を設けており過ごしやすい空間を確保しています	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	他教室と職員の移動を行い、人員の調整を行っています	人員不足により、利用定員分の算定が行えない日が出てきています
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		スロープや手すりを設置し車椅子対応が出来ています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		施設内の整理を行うことで、空間の美化を行っています	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンの為の空間として個室の用意が出来ています	個室の数は多くなく、複数名が同時に使用を希望した時には対応できない可能性があります
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		朝礼終礼の導入や記録方法の改善により職員それぞれの意識改革を図っています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所評価表を元に会議を行い改善に努めます	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝会などで職員の意見を共有し、改善策を話し合うことができています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		外部評価は行っていません
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		親会社による定期的な研修を行っています	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		全教室共通のプログラムを行い、教室毎に通っている児童様に合わせた支援を行っています	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		児発管が6ヶ月以内に個別支援計画を更新しています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画検討会議で指導員とも考案しています	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		検討会や日々の話し合いで共有しています。	

適切な支援の提供	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		職員それぞれが日々の支援の中で観察して気づいたことを共有しています。	明確な評価基準はないように感じます
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画に記載されている	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		全体で共有し、だいたい二か所で行うので全職員がプログラムを行えるようにしています。	全員で共有しているもののプログラム立案をする職員が固定化されてしまう傾向にあります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		全体プログラムだけでなく、教室にあったプログラムに変えて行う事もあります	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別で支援が必要な児童様には個別支援計画に記載しています。	記載された個別活動の時間の確保が充分でない時があります
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼でその日の活動や児童様への注意点を共有しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼の開始により、情報共有の機会が増えました。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動後に個別の記録を作成しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月以内に行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		地域活動がやや弱めでありますが、日々試行錯誤して取り行っています。	
関係機関や保護者との連携	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		外出先の選択や、映画イベントで何を見るかアンケートを取っています	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		基本的に児発管が参加しています	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		医療との連携はあまり取れていません
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		週ごとの下校時間予定表や年間行事予定表を共有していただいています	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		現在はあまり機会がないが、必要に応じて連携を行っていきます
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		現在はあまり機会がないが、必要に応じて連携を行っていきます

関係機関や保護者との連携	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		現在はあまり機会がないが、必要に応じて連携を行っていきます
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	1		交流会の機会は取れていないので随時検討していきます。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		地域の協議会について調べるところから、初めていきたい
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時の申し送りで一日のフィードバックを行っています。社内ソフトの連絡帳機能を使って連絡を取っているご家庭もあります。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	親会社による家族参加型の企画を行いました。加えて、相談事アンケートを配布し、必要に応じて面談を実施しています。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っています。	
保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児発管がアセスメントを行っています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画更新に児発管が説明しています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に相談事アンケートを実施し、面談希望のあるご家庭に面談を行っています。	アンケート配布時以外にも面談は受け付けていますが、保護者様に認知していただける程の共有が出来ていない。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	5		保護者会の実施は行っていないため、施設と保護者様との関係強化の機会が設けていけるのであれば実施していきたい。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		職員全体で対応しています	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		今月の活動内容と来月の活動予定カレンダーを毎月配布しています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		適宜ファイリング・保管をしています	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		ホワイトボードを用いて毎日のスケジュールを視覚化しています。加えて補聴器を使用している児童様もいますので個別のフォローを入れています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		現状、地域への対応は行っていません。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルを作成し、職員に周知しています	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		委員会を設置し、定期的な会議を行い、避難訓練も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		医師の診断書に基づいての対応は現状していないが、必要に応じて保護者様との情報も基に実施しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		定期的な避難訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事故報告やヒヤリハット発生時には全職員に周知しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を設置しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束適正化委員会を設置しています。	